

情報処理システムの変遷

バッチ処理システム (batch processing)

大量のデータを一括して処理する方式
あらかじめ決められた手順で処理・途中で処理内容を変更するのは困難？
→ 即時性が要求される処理には適さない

公共料金の請求書・月別売上計算 等

オンライン・トランザクション (online transaction)

トランザクション (処理の単位) の発生
↓
コンピュータに接続し処理する

銀行の ATM 、チケットの予約 等

安定稼働・信頼性が要求される場合が多い

リアルタイム制御 (realtime processing)

イベントに即時対応し処理・実行する

病院・工場などの機器の制御
我々が普段使用する家電などもこれに該当する

分散処理 (distributed processing)

複数のコンピュータをネットワーク接続
負荷の分散・耐故障性能の向上

「定型処理」と「非定型処理」との関連で語れる？

個人的な(私の)イメージとしては・・・
コンピュータの歴史と絡めて考えることで・・・

バッチ処理	→ 70 年代
オンライン・トランザクション	→ 80 年代
リアルタイム・分散	→ 90 年代

な感じがする (どうだろう)

問 身の回りにある情報処理システムについて考え、それが上記のどのタイプに当てはまるか考えてみましょう